

第39回JAS製材品普及推進展示会消費・安全局長賞 第57回全国優良木材展示会東京都知事賞 受賞

平成22年10月の公共建築物等木材利用促進法の施行に伴い、木材製品は確かな品質と性能を満たしたJAS規格製品の需要が高まってきており、展示会等への出展数も年々増え続け、JAS製材品の普及が進んできています。

久万事業所では、お客様へ「安心・安全な乾燥材のご提供」をモットーに、同年に整備しましたグレーディングマシンにより「機械等級区分構造用製材」のJAS認定をすでに取得しています。そして、お客様に信頼して頂ける製品の提供を目指して積極的に展示会等にも出品し、優秀な評価を頂いております。

第39回JAS製材品普及推進展示会において出展76社の内、農林水産大臣賞4社、消費・安全局長賞12社、林野庁長官賞16社、主催3団体会長特別賞3社、優良開催市場感謝状5社が表彰され、久万広域森林組合久万事業所のヒノキ柱製品が消費・安全局長賞を受賞いたしました。

第57回全国優良木材展示会においても出品して、東京都知事賞をはじめ11社が表彰され、久万事業所のヒノキ柱製品が東京都知事賞を受賞いたしました。

今後も他社と切磋琢磨しながら技術の向上を図り、これらの評価を励みに久万材の良さを全国にPRして「媛すぎ・媛ひのき」の普及を目指して参ります。



愛媛ブランド材「媛^{ひめ}すぎ・媛^{ひめ}ひのき」

愛媛県は意外に知られていませんが、ヒノキの素材生産量日本一で全国有数の林産県です。愛媛県の製材品のセールスポイントは以下の3つで、

- 「安定供給ができること」
- 「品質管理がしっかりしていること」
- 「多様な製品を供給できること」

これらをPRして知名度向上と販路拡大を図るために、愛媛県産材をブランド化する動きが高まりました。

「媛すぎ・媛ひのき」と命名された愛媛ブランド材は、品質と性能の確かな製品の証明となり、これら2つのロゴマークは、JAS規格に基づく一定の「品質基準」を満たした県内産の製材品・集成材にのみ使用が認められています。



媛^{ひめ}すぎ



媛^{ひめ}ひのき

草花だより



4月上旬、黒藤川にて撮影

ユキワリイチゲ（雪割一華） - *Sanemone keiskeana* - はキンポウゲ科で、本州西部から九州に分布する多年草です。

林内や渓谷沿いなどに生育し、地下茎を横に伸ばして群生します。秋に葉を出して「雪割一華」の名前のごとく、雪解け時期に雪を割って出た茎先に一輪の花を咲かせます。

昔より雪が少なくなったからなのか、実際は写真の様に雪を割って出ることは少なくなっているようです。

花の色は白色～薄青紫色で、花の色を瑠璃（るり）色に見立ててルリイチゲ（瑠璃一華）とも言うそうです。

花言葉は「幸せになる」で、まだ寒さが残る時期に森の中でこの花にめぐり会おうと思うのかもかもしれませんね。